



あせらず、あわてず、自分らしい歩調で・・・。 笑顔広がる2学期へ

長い夏休みが明け、校庭や教室に元気な子供たちの声が戻ってきました。久しぶりに会った子供たちは、心も体もひと回り大きくなったように感じられ、ご家庭で過ごした時間の中で、一人一人がたくましく成長したことを嬉しく思います。日頃より本校の教育活動を温かく支えてくださっている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



アメリカの詩人口バート・フロストは、「一步一步が、目的地に近づく道である」という趣旨の言葉を残しています。子供たちの成長も、一足飛びに進むものではありません。1学期、学習や友達との関わり、係活動や学校行事など、一つ一つの経験を積み重ねてきた子供たちは、この夏休みにも、それぞれの場所で新しい出会いや発見を重ねてきたことだと思います。そして、2学期もまた、新しい一步の積み重ねです。

夏休み明けは、心も体も少しずつ学校生活のリズムへ戻していく大切な時期です。大人でも生活のテンポが変わるときには、少し力が必要になります。「早く元通りに頑張らなくてはいけません」と急ぐ必要はありません。大切なのは、周りと比べることではなく、一人一人が自分に合った歩調で進んでいくことです。昨日の自分より少しだけ前へ——。まずは小さな一歩から、あせらず、あわてず、踏み出していただければ十分です。

ご家庭でも、十分な睡眠や朝食など、生活リズムを整えることを大切にいただければと思います。また、「学校の生活に戻るのが少し重たく感じるな」という気持ちも、決して特別なことではありません。「あなたのペースでいいんだよ」と寄り添い、子供たちの思いに耳を傾けていただければ幸いです。「今日もよく頑張ったね」「元気に学校から帰ってきたね」と、その日の小さな一歩を認めてもらえることが、大きな安心につながります。

2学期には、さまざまな学習や行事、友達との関わりを通して、たくさんの「やってみたい」「知りたい」に出会います。海や山、地域の方々など、雑賀崎ならではの豊かな環境も、子供たちの学びを支えてくれます。一人では踏み出しにくい一歩も、友達と一緒に踏み出せることがあります。そして、誰かの頑張る姿が、また別の誰かの背中をそっと押してくれることもあります。



自分の歩調を大切にしながら、ときには友達と歩調を合わせ、ときには支え合いながら——。一人一人の小さな一歩がつながり、大きな学びとなって、学校いっぱい笑顔が広がる。そんな2学期にしていきたいと思います。

子供たちが安心して自分らしく歩みを進められるよう、ご家庭と学校が手を取り合いながら、温かく見守ってまいります。今学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

(学校長 谷口 佳都司)